

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	武雄市家庭教育支援チーム (呼称：武雄市子育て総合支援センター) URL: kosodate@city.takeo.lg.jp
活動開始年度	平成19年度
活動拠点	武雄市子育て総合支援センター
活動範囲	武雄市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u> 7 </u> 人 子育てサポーターリーダー4人、子育て総合支援センター職員3人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input checked="" type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 【育ちあい講座】 市内の中学3年生・高校1年生の家庭科の授業の中で、園児とふれあう機会を提供する。中高生が園児のあそびの計画を主体的に考える。園児にとっても、年長者へのあこがれの気持ちを持ち楽しく過ごせる場となっている。計画や実践の場で、助言を行っている。 参加する園も、中高生に子どもの実態やあそびについて助言したり、あそびの姿を今後の保育にいかしたりするなど、支援者として子どもの育ちに関わっていく。 【赤ちゃん登校日】 中学校の中に月1回、乳幼児の親子と中学生のふれあいの場を提供し、遊びを通して異年齢の学ぶ場を提供する。
活動の成果	【育ちあい講座】 中高生は子どもの発達について学び、園児との遊びを考えていく中で、将来を見つめる動機づけとなったり、親になりたいと思う心情を育んだりしている。 直接触れ合うことで、こどもがかわいいと素直に感じている。自分自身の発見にもなっている。

	<p>【赤ちゃん登校日】</p> <p>中学生が、直接温かく見守る母親と話したり、実際に赤ちゃんを抱っこしたり、遊ばせ方を聞いたりすることで、自分が大切に育てられことに気付いてきた。</p> <p>お母さんも中学生とのふれあいの中で、我が子が成長した姿を想像したり、子育てを振り返ったり、大切なことに気付くようになってきている。</p> <p>親子の出会いの場でもあり、中学生と直接ふれあい会話ができる場ともなっている。</p>
<p>活動において苦勞した点や課題</p>	<p>家庭科など授業の一環として、親子さんとの時間を調整して協力いただいている所もあるが、親子さんは楽しみに参加して下さっても、中学生の授業時間との兼ね合いがうまくいかない所もあったりした。活動内容を理解していただき、交流の時間が有意義なものになるように今後も引き続き、働きかけを行っていく必要がある。</p>
<p>今後の活動目標</p>	<p>中高生と乳幼児、母親とのふれあいの場を提供しているが、今後は活動を広げ小学生を対象に行っていきたいと考えている。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>(部署・氏名等)武雄市子育て総合支援センター (TEL)0954-36-3700 (E-mail)kosodate@city.takeo.lg.jp</p>